

大 題 材 名			冬 休 み に や っ て み よ う			(全 2 時 間)
ね ら い			・ 家族のために家庭の仕事を実践することで、自分で考え工夫することの楽しさを実感し、主体的に家族に協力しようと意欲をもつことができる。 ・ 家族のための仕事を、自分なりの工夫を加えて行うことができる。 ・ 衣食住に関わる仕事を、今までの学習や自分の興味・関心を生かして、家族のために行うことができる。 ・ 自分の体験を通して、家庭には生活を支えるための仕事があることが分かる。			
小題材	時間	内容	ね ら い	学 習 活 動	配 慮 事 項	
実践計画	1	冬休みの実践計画を立てよう	冬休みの実践計画を立て、進んで実践していく意欲をもつことができる。	○ 冬休みに家庭で実践しようと考えていることを交流しよう。 ・ 2 学期学習したことを振り返る。 ・ 家族との触れ合いの持ち方の工夫する。 ・ 冬休み家庭で実践できることを工夫し、交流する。 ○ 実践計画を立てよう。 ・ 実践カードに具体的に計画を記入する。	評：進んで家族との触れ合いや団らんの時間をもつことができたり、自分から家庭の仕事をしようとしていたりしている。(関) 評：実践計画を立てるとき、家庭生活を見直し、家族との触れ合いや自分の分担する仕事について考えたり自分なりに工夫したりしている。(創)	
冬休み	家庭で実践する。					
実践交流	2	冬休みに実践できたことを交流しよう	仲間と実践を交流することを通して、家庭の仕事について理解を深め、家庭での仕事をさらに工夫して行っていこうという意欲をもつことができる。	○ 冬休みの実践を持ち寄り，報告会をしよう。 ・ 実践して見つけたことや分かったこと、家の方の感想を実践報告用紙をもとに、交流し合う。 (写真や VTR を見せ合ったりできるとよい) ・ 仲間の実践から見つけたことを交流する。	評：実践交流から、今後の生活に生かしていこうと意欲をもっている。(関) 	